

追分高校です 49



「ネイパル深川」

宿泊研修

1年生の宿泊研修が深川市の「ネイパル深川」を宿泊施設として実施された。

4か所の研修（酪農学園大学の研究施設や講義等の見学・旧美唄工業高校でのウォールクライミング・株式会社植松電機の見学と講演・滝川ふれ愛の里のパン作り）を通して学び、宿泊施設のスポート研修でクラスの親睦を深めた。

株式会社植松電機の企業訪問では、ロケットの構造を



↑植松電機 植松 努氏
ロケット制作の様子→



知るために各自でミニロケットを制作し、実際に打ち上げた。印象深かったのは専務取締役、植松 努氏の講演「思うは招く・夢があれば何でもできる」。「どうせ無理」から「じゃ、こうしてみたら」と発想を転換することが夢の実現につながる、追高生に熱く語っていただいた。講演の感想には「絶対に自分の夢を叶えようと思った」とあり、有意義な研修となった。

「九州」見学旅行

11月10日から3泊4日の日程で、2年生の見学旅行が実施された。

見学地は九州。長崎の平和学習を柱に、ペシヤワール会事務局の国際貢献講話、日本三大名城の熊本城、雲仙天草国立公園の平成新山ネイチャーセンター、世界遺産旧グラバー住宅と長崎自主研修（市内や世界遺産に登録された軍艦島等）、国の特別史跡吉野ヶ里遺跡を見学。福岡、熊本、長崎、佐賀の九州4県を巡る平和や自然、歴史と文化を学ぶ見学旅行であった。



長崎平和祈念像の前で

長崎の平和公園では厳粛な雰囲気の中、追高生全員で折った千羽鶴に「世界で平和が当たり前でありますように」とメッセージをつけて献納。献納セレモニーでは、クラス代表による誓いの言葉が静かに語られた。「かつてこの地に原爆が投下され、多くの尊い命が失われました。戦争はあってはならないもの。そして、武力による争いごとの解決も同じです。今後、戦争が起こらない平和な社会を築きます。」平和な社会の担い手となる、自覚に満ちた力強い言葉だった。

←千羽鶴献納



▼12月の行事予定

- 4日 大学・専門学校見学会
- 18日 漢字コンクール
- 24日 体育大会
- 26日 冬季休業（～1/17）

▶皆様のご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校（☎・FAX ☎ 2555）
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページをリニューアルしています。
ぜひ、ご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校